

【様式 1】

学生支援緊急給付金申請書

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の学生支援緊急給付金を申請します。
私が現在、機構の奨学生である場合は、機構が保有する私の口座情報を学生支援緊急給付金の振込先情報として利用することに同意します。

1. 基本情報

		提出年月日	2020年 7 月 〇 日		
所属する学校名	広島工業大学				
学籍番号	〇〇〇〇				
氏名	カナ（姓）	コウダイ	カナ（名）	タロウ	
	漢字（姓）	工大	漢字（名）	太郎	
生年月日（和暦）	昭和・平成	〇年	〇月	〇日生	電話番号
機構の奨学生番号		5 2 0 — 0 4 — 〇 〇 〇 〇 〇 〇			
※機構の奨学生のみ記入ください。					

2. 振込先情報

※ **機構の奨学生は記入不要です。**ただし、機構の奨学生であっても機構に登録している口座が解約済であるなどの理由により、学生支援緊急給付金の受取りに支障がある場合は記入してください（機構の奨学金の登録口座については、別途、変更の届出が必要です）。

口座名義（カナ氏名） ※通帳記載の口座名義人を記入	コウダイ タロウ
------------------------------	----------

（ゆうちょ銀行以外の金融機関）

金融機関名・支店名	〇 〇	銀行 信用金庫 農 協	〇 〇	支店 営業所 出張所
金融機関コード	0 0 0 0	店舗コード	1 2 3	
預金種別	普通預金			
口座番号 ※右詰で記入	1	2	3	4 5 6 7

（ゆうちょ銀行）

ゆうちょ銀行	記号	1	2	3	4	5			
	番号	1	2	3	4	5	6	7	8

3. 申し送り事項

- ※ 証明書の提出が困難な理由や多子世帯、ひとり親世帯等であることなど、大学等に申し送りすることがあれば記入ください。なお、こちらに質問などを記載しても返信致しません。
- ※ 大学等1年生で予定していたアルバイトがなくなった場合等は、そのような事情を記入ください。

※に加えて、以下の情報を必ず記入してください。

- ① 「多子世帯」、「ひとり親世帯」、「住民税非課税世帯」の学生はその旨朱書きで記載。
- ② 自宅生でも家庭からの学費等の援助を受けておらず、自ら賄っている旨の事情。
- ③ 生活費・学費に占めるアルバイト収入について、奨学金等に加え、アルバイト収入で生活費・学費等を賄っており、全収入におけるアルバイト収入の割合が高い旨の事情。
- ④ 家庭収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない者で、国及び地方公共団体が実施する公的支援の受給証明書を提出できない場合は、追加的支援が期待できない旨の事情。
- ⑤ 給与明細、預金口座の写しの提出が難しい場合には、新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト収入が大幅に減少（50%以上）したことを記載してください。
(〇月は〇月に比べて50%以上減少。〇月は〇〇円であったが、〇月は〇〇円となった。等)
- ⑥ 現在受給している又は予定している奨学金の名称(奨学金の名義は必ず該当学生であること)

4. 添付書類

- ※ 該当書類の「チェック」欄に「○」を記入してください。該当がない場合は、添付する書類名を記載のうえ、「チェック」欄に「○」を記入してください。

チェック	書類名
<input type="radio"/>	預貯金通帳の写し（任意）
<input type="radio"/>	アパート等の賃貸契約書の写し（自宅外生のみ）
<input type="radio"/>	新型コロナウイルス感染症対策に係る公的支援を受けている受給証明書等（提出可能な場合）
<input type="radio"/>	アルバイト先からの給与明細（減額前、減額後）（任意）
<input type="radio"/>	奨学生証又は住民税非課税証明書（提出可能な場合）
	その他（ ）

ご記入いただいた情報は、機構の学生支援緊急給付金のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報が、文部科学省、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複支給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。